

- この時計はソーラーパワーオッジです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。<https://citizen.jp/support/guide/html/f990/f990.html>

各部の名称

針とボタン

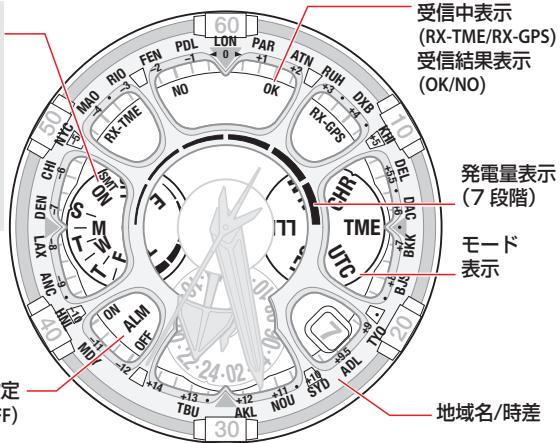


- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずの引き出し位置は2段階あります。

表示

機能表示

- 曜
- 充電量(5段階)
- サマータイム設定(SMT ON/OFF)



モードを切り替える

1 りゅうずの位置を **①** にする
秒針が30秒を指して停止します。



2 りゅうずを回して、モード表示のモード名を◀マークに合わせる
・切り替えたいモード名が水平になるように合わせます。

モード表示
の読み位置

3 りゅうずの位置を **②** にして、終了する
時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。

充電量を確認する

充電量表示で現在のおおよその充電量を確認できます。

1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **②** にする

2 ②ボタンを押す

機能表示が充電量をレベル表示し、秒針が現在のホームタイムの時差の設定を指します。

・モード[LLI]では、充電量レベルが常に表示されます。

レベル	4	3	2	1	0
表示					
持続時間	約1.5年～1.2年	約1.2年～10ヶ月	約10ヶ月～4ヶ月	約4ヶ月～5日	5日以下
意味	十分充電されています	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まっているレベルです。	安心してお使いいただけるレベルです。

3 ②ボタンを押して、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

・ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

発電量を確認する(ライトレベル インディケーター)

1 モードを [LLI] にして、りゅうずの位置を **①** にする
機能表示が充電量をレベル表示します。

2 ②ボタンを押す

秒針が発電量をレベル表示します。

・発電量は1秒間隔で測定され、レベル表示されます。

レベル	6	5	4	3	2	1	0
表示							
意味	発電量は、充電に適しています。	発電量レベルが「5」または「6」になるような、より明るい場所で充電してください。					

3 ②ボタンを押して、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

・ボタンを押さなくても、30秒間経過すると自動で戻ります。

衛星電波の受信結果を確認する

1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **[0]** にする

2 ①ボタンを押す

秒針が、前回の受信結果を指します。

OK		受信に成功しました。
NO		受信に失敗しました。

- 受信結果では、位置情報の取得/時刻情報の取得の区別をしません。

3 ①ボタンを押して、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

- ボタンを押さなくても、10秒間経過すると自動で戻ります。

衛星電波を受信する

1 受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

位置情報を取得する

取得した位置情報から、自動でワールドタイムを設定し、ホームタイムの時刻/カレンダー合わせを行います。

・位置情報の取得には、30秒～2分かかります。

1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **[0]** にする

2 秒針が「RX-GPS」を指すまで、①ボタンを2秒間押し続ける

- 受信が終わると、秒針がワールドタイムの設定を指し、秒表示に戻ります。

時刻受信

・時刻受信には、3～30秒かかります。

1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **[0]** にする

2 ①ボタンを7秒間押し続ける

- 秒針が一度「RX-TME」を指してから、一回転し再び「RX-TME」を指したら、ボタンを離します。

受信が始まります。

- 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

うるう秒受信

・時刻受信には、36秒～13分かかります。

1 モードを [TME] または [UTC] にして、りゅうずの位置を **[0]** にする

2 ①ボタンを7秒間押し続ける

- 秒針が一度「RX-TME」を指してから、一回転し再び「RX-TME」を指したら、ボタンを離します。

受信が始まります。

- 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

手動でワールドタイムを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の39の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

1 モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を **[2]** にする
秒針がホームタイムの現在の時差の設定を指します。

- モードが [UTC] のときは、ホームタイムの時差の設定のみ変更できます。

2 ②ボタンを押す

秒針がローカルタイムの現在の時差の設定を指します。

- ②ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム/ローカルタイムの設定変更に切り替わります。

3 りゅうずを回して、時差を設定する

時刻表示が切り替わります。

4 りゅうずの位置を **[0]** にして、終了する

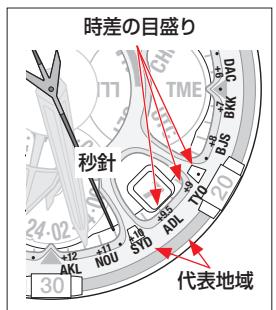
秒針が、秒表示に戻ります。

時差の設定の見かた

時計上には、時差の目盛りが39あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

右の図では、秒針が26秒を指していて、時差の設定は「+10.5」になっています。

- 時差は、UTC基準です。



時差と代表地域について

(2018年1月現在)

時差	秒針	表記	代表地域
0	0秒	LON	ロンドン
+1	2秒	PAR	パリ
+2	4秒	ATH	アテネ
+3	6秒	RUH	リヤド
+3.5	7秒	—	テヘラン
+4	8秒	DXB	ドバイ
+4.5	9秒	—	カブール
+5	10秒	KHI	カラチ
+5.5	12秒	DEL	デリー
+5.75	13秒	—	カトマンズ
+6	14秒	DAC	ダッカ
+6.5	15秒	—	ヤンゴン
+7	16秒	BKK	バンコク
+8	18秒	BJS (HKG)	北京/香港
+8.5	19秒	—	平壤
+8.75	20秒	—	ユークラ
+9	21秒	TYO	東京
+9.5	23秒	ADL	アデレード
+10	25秒	SYD	シドニー
+10.5	26秒	—	ロード・ハウ島
+11	27秒	NOU	ヌーメア
+12	29秒	AKL	オークランド

ホームタイム/ローカルタイムを入れ替える

1 モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を **[0]** にする

2 ①ボタンと②ボタンを同時に押す

確認音が鳴り、ホームタイム/ローカルタイムの時刻が入れ替わります。

- 日表示/曜表示は、新たにホームタイムとして表示される時刻に基づきます。

サマータイムを表示させる

- 1 モードを [TME] または [LLI] にして、りゅうずの位置を ② にする**
機能表示が、ホームタイムのサマータイム設定(SMT ON/OFF)を指します。
・モードが[UTC]のときは、ホームタイムのサマータイム設定のみ変更できます。

2 ④ボタンを押す

SMT ON		サマータイムが表示されます。
SMT OFF		標準時刻が表示されます。

- ④ボタンを押すごとに、サマータイム設定(SMT ON/OFF)が切り替わります。

3 ⑤ボタンを押す

- 機能表示が、ローカルタイムのサマータイム設定(SMT ON/OFF)を指します。
・⑤ボタンを押すごとに、それぞれの分針が少し動き、ホームタイム/ローカルタイムの設定変更に切り替わります。

4 ④ボタンを押して、ローカルタイムのサマータイム設定を切り替える

5 りゅうずの位置を ① にして終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

アラームを使う

アラームは、常にホームタイムの表示時刻に基づきます。

1 モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を ② にする

- デュアルタイム表示に、現在のアラームの設定時刻が表示され、秒針が、現在のアラーム設定(ALM ON/OFF)を指します。

- アラームの設定時刻を見やすくするために、時針と分針が一時的に移動することができます。

2 りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する

- りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。
動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

3 ④ボタンを押して、アラーム設定 (ALM ON/OFF) を設定する

- ④ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。

4 モードを [TME] にし、りゅうずの位置を ① にして、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

うるう秒の設定を確認・修正する

- うるう秒の設定の修正は自動で行われますが、手動で行うこともできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトをご覧いただけます。

<http://jpy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

1 モードを [SET] にして、りゅうずの位置を ② にする

秒針が停止します。

2 ④ボタンを 2 秒間以上押す

- 秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「-37秒」のとき	うるう秒の設定が「-65秒」のとき

「0分37秒」を指します。 「1分5秒」を指します。

3 うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する

- 修正できる範囲は、0秒から-90秒です。

4 りゅうずの位置を ① にする

5 モードを [TME] にして、終了する

時刻とカレンダーを手動で合わせる

ホームタイムの表示時刻/カレンダーを手動で合わせます。

- あらかじめ、「手動でワールドタイムを設定する」でワールドタイムの設定を行ってください。
- ローカルタイムの時刻は、ホームタイムの手動合わせ後に、時差の設定に応じて自動で修正されます。

1 モードを [SET] にして、りゅうずの位置を ② にする

秒針が停止します。

2 ④ボタンを 2 秒間以上押し続ける

分針が少し動き、時刻/カレンダー合わせができるようになります。

3 ④ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ

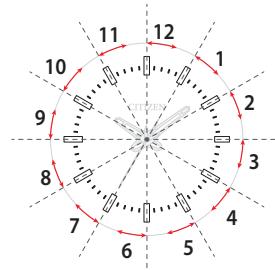
- ④ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
時・分 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
- 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。

4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

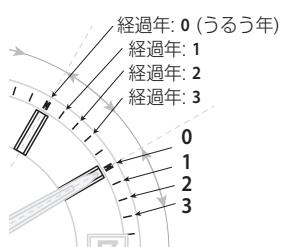
- 時・分・日表示は運動します。午前/午後の違いに注意します。日表示が切り替わったときが午前です。
- 日表示は、機能表示が回転すると切り替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 年と月は、秒針で表示されます。

月は、下図に示した範囲で示されます。

各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。



- うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧いただけます。
<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

5 手順 3 と 4 をくり返す

6 時報に合わせて、りゅうずの位置を ① にする

秒針が0秒から動き出します。

7 モードを [TME] にして、終了する

基準位置を確認する

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を [2] にする**
秒針/デュアルタイム表示が、0の位置を指して、停止します。
 - 2 ④ ボタンを押し続ける**
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
 - ・針が動き出したらボタンを離します。
 - 3 基準位置を確認する**
正しい基準位置は次のとおりです。
 - ・時針/分針/秒針:0時00分0秒
 - ・日表示:「31」と「1」の間
 - ・機能表示:「S」(日曜日)
 - ・デュアルタイム表示:0時00分

基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

- 4** りゅうずの位置を **①** にする
5 モードを「TME」にして、終了する

基準位置を修正する

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を ② にする**
秒針/デュアルタイム表示が、0の位置を指して、停止します。
 - 2 ④ ボタンを押し続ける**
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
 - ・針が動き出したらボタンを離します。
 - 3 ④ ボタンを押す**
機能表示が少し動き、機能表示と日表示の基準位置の修正ができるようになります。
 - 4 ④ ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ**
 - ・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
機能表示/日表示 → デュアルタイム表示 → 時針/分針 → 秒針 → (始めに戻る)
 - ・針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
 - 5 りゅうずを回して、針/表示を修正する**
 - ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - 6 手順 4 と 5 をくり返す**
 - 7 りゅうずの位置を ① にする**
 - 8 モードを [TME] にして、終了する**

オールリセットする

- モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を ② にする
 - Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に 4 秒間以上押して、離す
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、各針が現在の基準位置に動きます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の1月(5秒の位置)
ワールドタイム	時差0(LON)、ロンドン
受信結果	NO
サマータイム	全ての地域で、OFF
アラーム設定	OFF
アラーム時刻	午前0時0分
うるう秒	オールリセットしても変更されません。
ロールオーバー数	

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、時刻/カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。